

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第68号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成21年3月28日 16時00分ごろ	
発生場所	熊本県八代市大島町 八代港石油配分基地バース前 八代港北防砂堤灯台から真方位124° 1,100m付近 (概位 北緯32° 32.5′ 東経130° 33.7′)	
事故等調査の経過	平成21年5月18日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	油送船 <sup>はくよう</sup> 博洋丸、749トン	
船舶番号、船舶所有者等	135192、南洋海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか7人が乗組み、ガソリン約1,000kl及び軽油約1,050klを積載して船首約4.02m、船尾約4.87mの喫水で八代港に入港して、揚荷のため、南北両側が浅瀬となった水路の東奥にある石油配分基地に向けて航行中、棧橋に向けて右転を開始したとき、平成21年3月28日16時00分ごろ、船底が北側の浅瀬に接触して衝撃を受けた。</p> <p>着棧後、船体各部を点検したが、異常がなく、その後のドックでも損傷は発見されなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風力 1</p> <p>海象：潮汐 低潮時</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、水路の中央より北寄りの針路で航行したため、水路北側の浅瀬に接近した可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、八代港において南北両側が浅瀬となった水路を航行中、同水路の中央より北寄りの針路としていたため、北側の浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	